

地震に備えておこう！

便利グッズあれこれ

リビングサービス課
岩井 勝利

ご無沙汰しております。リビングサービス課の岩井です。

まず初めに、このたびの東北地方太平洋沖地震により被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

3月11日に起きた東北地方太平洋沖地震、日本史上これ以上の被害があった地震はなかったのではないのでしょうか。地震、津波、放射能ととんでもない事が起こりました。宣伝等で見掛けるように日本は強い、日本の力を信じようなどなど、今まで何が起こっても日本の団結力と復興に携わるいろいろな企業

や団体の底力により日本は幾度となく復活しています。その力のはかり知れませんが、日本全土でいろいろなイベントが自粛していますが、東北地方の復興再建の早道は、日本自体の景気を良くしもっともっと活発化させるのが一番なのではと私は思います。イベントを自粛するのではなく沢山イベントをして人の流れを作る。そうする事により「物」が流れ「お金」が流れ「税金」も増える。人や地域が活発になる事により「がんばれる力」も増えて来るのではないのでしょうか。

今回は地震災害時に役立つグッズを紹介します。

【お金】

通帳や印鑑などもまとめて運び出せるようにしておきましょう。

【服装】

おしゃれな物はいらぬ。動きやすいスポーツウェアや、体に負担がかかりにくいジャージや、スウェットなどを準備しておくといいでしょ。

【ヘルメット】

落下物から頭を守るためにはかかせません。忘れがちな子供用も必要ですよ。

【マスク】

建物の倒壊により飛散したアスベスト・グラスウール・ロックウールなどのホコリから身を守る、風邪などの感染症から身を守るのには不可欠です。(子供用の用意も忘れずに。)

【ライト&ラジオ】

ライトは乾電池式ならLED、乾電池の消耗を防げます。でも手回充電式LEDライト・ラジオ・携帯充電器が一体になった物があります。



これ一番、これなら乾電池の必要なし。今ではソーラー充電式もあります。

【医薬品】

必要であろう常備薬、目薬、殺菌消毒剤、除菌製品、石鹸(スプレー式が便利、洗い流す必要なし)、簡易救急セット、キズテープやガーゼは多めに必要です。その他サージカルテープ類やゴム手袋(ニトリル製が良い)、瞬間冷却パック、体温計などが揃っていると便利です。

【飲食品】

保存期間の長いレトルト食品、缶詰がよいのではないのでしょうか。乾パンなどは保存期間も長いし温度変化にも強いのでいいですが、ノドが乾き水分補給が増えて悪循環、水分支援が少ない被災地には致命的だと言えます。

【水】

2Lペットボトルでもよいし、すぐ運べないが20Lポリタンクなら沢山用意しておけるのではないのでしょうか(但し使用するときには加熱殺菌を忘れずに)



【ナイフ】

多目的ナイフであれば、缶切りやドライバーなども付いているので便利ですが、小さすぎるものは使いにくく、付属しているナイフ自体あまり使用できないので別に手頃なナイフだけは用意しましょう。

【寝具、防寒具】

アルミ保温シートを数枚、毛布よりも暖かくコンパクトに折りたたんで持ち運びにも便利です。寝袋(シュラフ)も大事ですね。



【その他便利品】

携帯トイレ、油性マジック、ガムテープ、レジャーシート(ブルーシート)、ろうそく、マッチ、ホイッスル、携帯ポンチョ(レインコート)、虫除けリング、携帯ウォーターバッグ、軍手(作業用豚革手袋も便利)、圧縮品など。



※小物類はすぐ持ち出しできる場所に小型のリュックなどにまとめておくのが大事です。また飲食品や大きめの防災品は少し大きめのクーラーボックスにまとめておくのがいいのではないのでしょうか。クーラーボックスは丈夫で保温保冷にも使用できるのでいいと思います。但しできるだけコンパクトに！保管場所にしても押入の奥などではなく建物が崩壊しても取り出しやすい場所を考慮して保管する必要があります。防災グッズは100円ショップなどでもありますが私の中ではあまり

おすすめできません。物によれば壊れやすい物もあり、いざという時に使えない可能性があります。アウトドアキャンプなどをする方はご存じだと思いますが便利グッズが沢山あります。

キャンプなどをしない方でも一度お店に足を運んで知識として覚えておく必要があるのではないのでしょうか。

